



センターNEWS

エコカフェがオープンしました。

センターご来館のみなさまへのお茶・コーヒー・紅茶のサービススペースをご用意しました。エコ談義に花を咲かせながらホッと一息…していただけるリラックス・スペースにしたいなあ、と考えています。これからも、みなさまに気軽に足を運んでいただけるようなセンター作りをしてまいりますので、どうぞよろしくお祈りします。



手作りの
万古焼きで
ほっこり♪



はみだしNEWS:メルマガ登録者をE-mailで募集中。氏名(ふりがな)、mailアドレス、郵便番号、住所、電話番号を明記し、info@eco-mie.comまで送信してください。

環境活動の
PRができる!

今月の企画展示 12~2月

9月以降
今月の企画展示
出展募集!
環境学習情報センター / 三浦まで



12月 三重中央開発株式会社

「三重中央開発株式会社」は「廃棄物を資源としてとらえ社会へ還す」という視点に早くから着目。積極的にリサイクル製品の技術開発を進めてきました。

一般廃棄物のプラスチックが新しく生まれ変わる資源の行程をわかりやすく、パネルにして展示していただきました。「これがこれになるの?」と驚きの声が聞こえてきそうでした。

一緒に「タングラムパズル(パズルゲーム)」も置いてもらいましたが、これも、もとはプラスチックごみです。この展示から「ごみだけど…ごみじゃないんだ」ということがわかり、リサイクル技術の進歩に驚かされました。



1月 北星高等学校通信制20学年Dクラス

平成20年7月7日~9日まで「G8北海道洞爺湖サミット」が開かれましたが、「三重県立北星高等学校通信制20学年Dクラス」は、その時の「キッズサミット宣言」に参加しました。

エコ活動のレポート参加ですが、全国の小・中・高のクラスの中から三重県立北星高等学校が優秀賞を受賞されました。「太陽と水と緑のプロジェクト」とした活動内容は、

- ①学校屋上に設置された太陽光パネルの電気料のCO₂削減量の記録
 - ②雨水タンク活用状況の記録
 - ③緑のカーテン(ゴーヤ)の記録
- です。展示ではこの取組をパネルにしたもの・雨水タンクのミニチュアなどを置いてもらいました。



2月 財団法人 鈴鹿国際交流協会

鈴鹿市の外国人登録者数は一万人を超えています。それは、三重県在住の1/5にあたります。そんな中で鈴鹿国際交流協会は鈴鹿市民の国際意識の高揚と諸外国との相互理解を深めることを目的に活動しています。

去年の8月17日の「夏の鈴鹿川体験」・9月14日「KIDS交流会」では、国は違ってもところはひとつになって、エコについて考え、その思いを「地球へのメッセージ」としてパネルにまとめました。それぞれ自分の国の母国語で伝えています。

これを見ると「地球はひとつ・世界はひとつ」って思いが強くなります。わかった人からはじめ、わかったことなら伝えることができる…地球上にそんな人が多くつながっていけば嬉しいですね。



ようこそ!&訪問しました 12~2月

三重県環境学習情報センターでは社会見学・環境学習体験教室の受入を行っています。

環境学習情報センターに来館してくれた小・中学校			環境学習情報センターが訪問した小・中学校		
市町	四日市	富洲原中学校(1年生)	津	片田小学校(6年生)、安東小学校(5年生)、藤水小学校(3年生)、高茶屋小学校あすなろ分校(1~6年生)	
	いなべ	山郷小学校(5年生)		鈴鹿	清和小学校(5年生)
市町			鳥羽	答志中学校(1~3年生)	
			志摩	立神小学校(4年生)	